



Newsletter

No. 40

2010年11月15日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

## レイバーフェスタ 2010

## 百年の歌がはじけて垣根超え

## 百年の歌がはじけて垣根超え

2010年12月23日(土) 東京しごとセンター  
12月19日(日) エルおおさか南館

趙博ライブ「百年を歌う」



2004年

韓国映画「海を越えた初恋」  
トルコ映画「抵抗者」

日本初公開!

2010 12.23

ことしのレイバーフェスタ(東京)は、「韓国強制併合百年」の年にちなんでサブテーマを「百年の歌がはじけて垣根超え」としました。浪速の巨人・趙博さんが「百年」を歌い上げ、日韓労働者の熱い連帯を描いた映画「海を越えた初恋—1989 スミダの記憶」を初上映します。そして、おなじみの参加型企画「3分ビデオ」「レイバーソングをつくろう・歌おう」「ワーキングプア川柳」など豪華メニュー。9

回目を迎えてますますヒートアップのレイバーフェスタに、あなたも参加しませんか。大阪は12/19エルおおさか、東京は12月23日は東京しごとセンターで、共通のプログラムは、趙博ライブと3分ビデオがあります。

〔東京のプログラム〕東京しごとセンター

★12月23日(休) 10.30～20.30

10:30 トルコの労働映画「抵抗者」上映

11:30 朗読 浅田次郎作「ラブレター」

13:00 演劇「母さんが教えてくれなかった八月」

13:40 レイバーソングをつくろう・歌おう

15:00 3分ビデオ 25本一挙上映

16:50 Go Go ワーキングプア川柳

ゲスト=尾藤一泉

18:00 趙博ライブ「百年を歌う」

18:35 映画「海を越えた初恋—1989 スミダの記憶」上映

パク・ジョンスク監督のトークと歌

20:30 終了

当日2000円(前売1700円)

問い合わせ=TEL03-3530-8588

〔大阪のプログラム〕エルおおさか南館

★12月19日(日) 11.30～16.50

11:30 長編ドキュメント「女工哀歌」上映

13:30 公募3分間ビデオ(大阪作品)

15:00 趙博ライブ

15:45 公募3分間ビデオ(東京作品)

16:50 終了

当日1200円(前売1000円)

問い合わせ TEL&amp;FAX 06-4805-0234

## ★趙博ライブ「百年を歌う」

## 抵抗する歌手の真髓

佐々木有美

趙博さんを知ったのは、1998年4月。大阪のある野外コンサートだった。その時、趙さんが歌ったのが『橋』。大阪環状線沿いのコリアンタウンの変貌振りを、一種のかわいた叙情と風刺で歌いきっているところが、重く胸にひびいた。その後、東京で『一本の鉛筆』を聴く。これは、美空ひばりがヒロシマの集会で歌った幻の反戦歌。趙さんは、ラジオで聞いたこの曲が忘れられずに自分のレパートリーに加えた。「一本の鉛筆があれば 私はあなたへの愛を書く 一本の鉛筆があれば 戦争はいやだと 私は書く」。歌は、心に染み入った。涙があふれた。その後、美空ひばりの歌も聞いたが、趙さんの方がはるかにこの歌のこころを表現していると思った。

今年、趙さんは「韓国併合」100年を機にCDアルバム『百年目のヤクソク』をリリース。このアルバムの圧巻はなんとといっても15分の大作『百年節』だ。「昔、昔、その昔 二つの国が一つになったと／言えば聞こえはいいけれど

大嘘つきの土地泥棒・・・」で始まる『百年節』は、併合から現在までの在日韓国・朝鮮人の苦難の歴史を歌う。それを聴くわたしたち日本人は、取り返しのつかない自分たちの罪に直面する。この歌の最後は、「百年経っても 変わらぬものは 不逞・謀反に不服従／他郷暮らしの 侘しさよ／他郷暮らしの 儂さよ／他郷暮らしの 楽しさよ」でおわる。己の運命を嘆くのではなく、「不逞・謀反に不服従」で抵抗しつづけるとところに趙博の真髓がある。(フェスタ実行委員)



## ★日本初公開のトルコ映画「抵抗者」

トルコ専売公社(TEKEL)が2008年6月に民営化の名のもとでブリティッシュ・アメリカン・タバコに売却され、労働者たちは既得権喪失の危機に直面し、09年12月半ばに首都アンカラの公園で抗議集会を行ったが、行政が強硬姿勢で対応した。危機感が強まった彼らは、トルコ労働者組合連盟本部ビルの前の道端にビニールテントを張り、厳しい寒さを凌ぎながら78日間にわたって座り込みによる抗議

行動を行った。既得権の消失につながる資格変更に対して3月1日に国務院から裁判が終わるまでの執行停止命令が下り、労働者はいったん解散したが、裁判がまだ継続中である。ドキュメンタリー映画『抵抗者』は、この闘争を現場の労働者の視点から描いている。2010年作品・50分。(解説=イナン・オネル)

★韓国映画「海を越えた初恋—1989 スミダの記憶」

日本本社から1枚のFAXで通知された突然の「工場閉鎖、全員解雇」。本社との交渉を求めて韓国から「鬼が棲む」と言われた日本にやって来た4人の若い女性たち。交渉を拒否し、固く門を閉ざしたスミダ電機本社。その門前で繰り広げられた7ヶ月間の解雇撤回闘争。「死ぬことはできても、負けて帰ることはできない」という当該の決死の闘いを支援した日本の労働者・学生・市民・宗教者たち。20年前の「韓国スミダ闘争」には、さまざまなドラマがあった。そしてそのドラマは今に続いている。当時の映像と交錯させながら、そこで闘った人々の生きざまが映し出される。「思い出」ではなく、生きる「エネルギー」として。2010年作品・パク・ジョンスク監督・95分。

★朗読 浅田次郎 作「ラブレター」

留置所から出たばかりの吾郎は、偽装結婚した中国人売春婦が死んだことを知る。管理売春、不法就労、その中で必死に生きた女性・白蘭が遺したものとは…。作者の身近で起こった事実を小説化。「鉄道員」「蒼穹の昴」でお馴染みの人気作家、浅田次郎の名作を、レイバーフェスタ初の朗読で。よみ手・白銀由布子（レイバーネット文化部）

★演劇「母さんが教えてくれなかった八月」

施設で暮らす年長いた母親（門岡瞳）を、息子夫婦（杉浦久幸、中路美也子）が訪れる。痴ほう症の母は、息子勇一を、学徒出陣の徴兵命令を拒否し、

逃亡を企てた恋人高坂勇一と錯覚。次第に、母の家の金庫の中に一度も開けずに仕舞われていた品物とともに、戦時の記憶が65年の歳月を越えて蘇ってくる。企画・制作=「憲法寄席」創作集団、作・演出=杉浦久幸

★Go Go ワーキングプア川柳

2008年からスタートした「ワーキングプア川柳」も大きく広がり、今年は「韓国・朝鮮」等の公募川柳を収録した「川柳句集」もできた。フェスタでは、できたてホヤホヤの句集を選者の尾藤一泉さんが講評。また川柳の歌あり、本の紹介、川柳子から質疑ありのてんこ盛りメニュー。司会は乱鬼龍。

●伝えよう！表現しよう！—3分ビデオ大募集

レイバーフェスタ大人気の3分ビデオは、仕事のこと、生活のこと、社会のこと、言いたいことを3分の作品にまとめて発表するコーナーです。ぜひふるってご応募ください。下記のフェスタ事務局まで、DVD・DVミニ・VHSのいずれかのフォーマットで、名前・タイトル・連絡先を明記の上、お送りください。東京フェスタでは25本一挙上映します。締め切りは12/5。

●レイバーソングをつくろう・歌おう

働くあなたの歌、大募集！5分以内の作品音源（替え歌、オリジナルどちらでも）をお送りください。約10のグループ・個人に当日フェスタに出演していただき、珠玉の労働歌とともに一挙紹介します！締め切りは12/5です。

●賛同人・賛同団体募集

フェスタの財政を支えてください。ぜひ皆様のご協力をお願いします。なお賛同者には、参加費割引・チラシ折り込み・物販などの特典があります。  
賛同金 個人1口1000円 団体1口3000円  
郵便振替 00150-2-607244 「レイバーネット日本」

『がつんと一句！—ワーキングプア川柳』完成間近

川柳班・正木俊行

川柳班・句集刊行プロジェクトチームが取り組んできた川柳本、『がつんと一句！？ワーキングプア川柳』が、ようやく日の目を見ようとしている。

編集を依頼された私がまず驚いたのは、コンセプトもなく、読者対象も考えていないその本作りの姿勢。業界の人間が知ったら腰を抜かしそうなトンデモ本作りのスタートだったが、それでもまあ、やればできるということを証明できたのだから、この業界の人に勇気を与えるだろう。

市民運動、生協運動にずっと関わってきた私が今回いちばん心配したのは、書き手の思い入れの強さがしばしば障害となることだ。言いたいことを言いつつなしにして、読者のことを考えない人たち、乱文乱筆を読者に押し付け、義理で受け取ってくれたらそれで「読んでもらった」と満足する自己満足型運動家がものすごく多いのだ。そういう本は、よくて資源ゴミになるだけ。トイレトペーパーほどの役にも立たない。

読む気にならない→売れない→押し売りする→嫌がられる（でも売りつけた方は売れたと満足する）……こういう嫌運動スパイラルには絶対したくなかった。読者の心に届く本。読んでみたいと思わせる本。それが本当の意味での「売れる本」。それが

できれば押し売りする必要などないのである。

原稿は、予想通り問題が多かった。私としてはあえて嫌われ役をやって、厳しく原稿の書き直し、差し替え、追加等を強要した。「読みたくなる本」としてそれでもまだ不十分（なにしろ私みたいな無名の川柳ド素人が登場しているのだから）だが、しかしプロジェクトメンバーの献身的な努力の甲斐あって、何とか世間に出しても恥ずかしくないような本にすることができた。

川柳をこれから始める人のためのコツ、すでに川柳やっている人が読んでためになる文章、そしてレイバーネットの仲間が作った（川柳用語で「吐いた」）名句・迷句など、ただの句集でないバラエティに富んだ内容になっている。

このニュースレターがお手元に届くころ、まさに印刷中だろう。ぜひ楽しみにしていただきたい（新書判104頁。予価700円+税）。





# 「フツターの仕事がしたい」アメリカ初上映

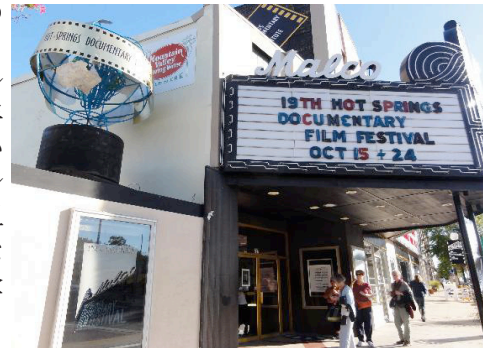
土屋トカチ

10月14日から一週間、アメリカはアーカンソー州ホットスプリングス市で開催された映画祭「第19回ホットスプリングス・ドキュメンタリー・フィルム・フェスティバル」へ行ってきました。新自由主義最先進国アメリカでの上映は、私にとって悲願でした。

ホットスプリングス市は、リトルロック空港から車で1時間ほどの田舎町。名前のおり、あちこちから湧き出る温泉を利用した湯治場（バスハウス）が賑わっており、古き良きアメリカを感じさせる観光地です。映画祭には賞を争うコンペ部門がなく、地元の方々が、じっくり映画を楽しめるようプログラムされているようで、観客の大半はご年配の方でした。9日間の映画祭で上映されるのは約100本。地元紙には「今年度のオススメ10本」が紹介されたのですが、「フツターの仕事がしたい」も入っていました。嬉しかったです。

「フツターの仕事…」は、約200名の方が観てくれました。驚いたのは上映終了時の拍手。なんと3回も起こりました。エンドロールが始まる直前、監督名が出た時、そして主人公の会社が「事実上、倒産した」と字幕が出た時。アメリカでは、いわゆる勧善懲悪の物語が好まれるのかもしれませんが。「もしあの会社が存続していたら、ゾッとするよ」との声もチラホラ。Q&Aでは「アメリカの運転手も同じような境遇だ。仲間に映画を薦めるよ」と話すトラッ

ク運転手の白人男性や、「妻がウォルマートで7年以上働いているが、ウォルマートでは組合が認められないので、賃金は安いまま」と嘆く日本人男性など、悩みを打ち明けてくる方が多かったです。メジャーな映画祭にはない、独特な味がありました。



写真上=映画祭会場、下=左が筆者

## 三団体共同で反貧困TV開設！5時間生中継成功

松元千枝

レイバーネットTVで得た経験を生かして、10月16日・明治公園の反貧困ネットワーク主催の集会で5時間ぶっ通しの生中継に成功した。集会には1200人からの参加があったが、インターネットテレビでも視聴者は170名を超えた。今回の生中継は、OurPlanet-TVとPARCアジア太平洋資料センターとの協力のもと実施できた。

集会ははじめの1時間は、野外でのインターネット接続ということもあり、機材トラブルがあったが、問題を解決してからは予定通りの番組構成を遂行することができた。見どころは、「教えておじさん！反貧困版」と「反貧困本音トーク」。若者から、日本の貧困問題について本当に素朴な疑問・質問が投げられ、それに対して山谷で長年野宿者運動をしている企業組合あうんの中村光男さんが、丁寧に回答してくれた。Twitterからはときに厳しい意見も寄せられたが、それでも反応は比較的良好。

「本音トーク」では、反貧困ネットワーク主催のイベントだからこそ可能だった豪華キャストがそろった。コーナーのタイトルそのものの、「本音」が飛び交った。イベントのデモや、われらがジョニーHのライブなどでは、視聴者がTwitterを通して一緒にデモコールしたり、歌ったりと、ち

らからのにぎやかさを伝えられ、視聴者がともに楽しんでいることが伝わってきた。

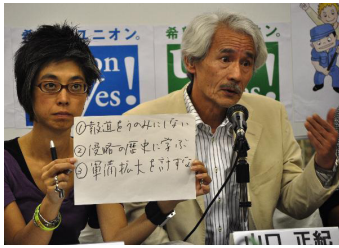
それでもやはり改善点も多々あり、今後はそれを生かすことで、これまで届かなかった層にも貧困問題に関心をもってもらえるよう、この取り組みを継続していくことで話し合いを進めている。レイバーネットTVとしては、学ぶことが多く、これからもこの2団体と協力していくことで、よりよい番組作りの参考になると確信した。イベント直前にばたばたと多くのことを決め、成し遂げ、小道具からメカから何から何まで、楽しいことづくめだった。

(レイバーネットTVプロジェクト責任者)



## 新入会員紹介

### ●レイバーネットTVでメディア批判 山口正紀



山口正紀、1949年、大阪府堺市生まれ、ジャーナリスト、61歳です。10月19日、レイバーネットTVの番組放映後、入会しました（写真右）。1973年から読売新聞記者をして

ていましたが、2002年に週刊金曜日の連載コラムで「拉致一色報道」を批判して記者職を剥奪され、2003年末に退社。1985年から「人権と報道・連絡会」の世話人として、報道被害者の支援活動に参加しています。1993年からは新聞労連で記者研修の仕事を手伝っています。この数年、レイバーフェスタなどで3分間ビデオや川柳の作品評などをしてきました。レイバーネットTVでは、「ピリ辛コラム」を担当しています。食べ物は「甘いもの大好き」ですが、最近のメディアには「激辛」にならざるを得ません。今後とも、よろしくお願いします。

### ●障がい者の生活支援など取り組む 安田祥平

こんにちは。このたび新しくレイバーネットに参加させていただきました安田祥平です。活動家一丁あがり講座では松元ちえさんたちにお世話になりました。今後ともよろしくお願いします。現在は、障がい者の生活支援・権利擁護のための活動に取り組むと同時に、介助労働者の労働環境改善のための活動に取り組んでいます。1984年8月15日、岐阜県生まれ。中学・高校時代は卓球部に所属していました。海津郡大会ベスト8です。ループドライブができます。最近、白髪が増えてきました。抜け毛はありません。中国語の勉強をしています。中国語でインターナショナルを歌えます。本名でTwitterをやっています。フォローしてください。よろしくお願いします。

### ●あの新宿地下広場で意思表示継続中 大木晴子

「晴子ちゃん、お嫁に行けなくなったわねえ～」母の声、そして、勤めていた出版社前で背広の男性数人に囲まれ一枚の紙を示され「令状逮捕」されたことは映画のワンシーンのようにときどき思い起こすことがあります。あれから41年が経ち同じ地下広場で反戦の意思表示をしている自分を見つめながら、ふと1969年の地下広場で反戦フォークソングを歌っていた自分と重ねあわせて見つめる時も・・・毎週土曜日のスタンディングです。イラク戦争が始まる一か月前から立ち始めたこの反戦の意思表示は途切れること無く続いています。

「明日も晴れー大木晴子のページ」

<http://www.seiko-jiro.net/>

<http://twitter.com/kuronekoroku>

## インフォメーション

### ★会員の最新刊紹介

・安田浩一著『ルポ 差別と貧困の外国人労働者』岐阜県の山中で、初めて外国人研修生・実習生の取材をしたときの光景を忘れることができない。時給わずか300円の労働者を目にして、私は無力感にとらわれた。一記者として私にできるのは「記録」することだけだ。（安田浩一）

・橋口昌治・肥下彰男・伊田広行著『＜働く＞ときの完全装備』中高生から大人まで、労働者の権利を学ぶことができる実践的な教材集です。学校でも使えますが、自分ひとりで読むだけでも、無駄なことが書いていなくて実践に役立つことだけが平易な言葉で書かれているので、勉強になります。（伊田広行）

・木下昌明の映画批評集「映画は自転車に乗って」（仮）木下昌明さんの最新映画批評集が、11月末に績文堂より発刊されます。乞うご期待。レイバーフェスタでも販売します。

### ★ツイッター入門講座

ツイッターは社会運動を拓げる新たなツール。その使い方の基本を伝授します。同じ趣旨のものを2度やりますので、都合のいい日に参加してください。12月7日（火）19:00-21:00 講師＝印鑑智哉 12月14日（火）19:00-21:00 講師＝小林アツシ 場所＝四谷メディアール（四ッ谷駅前）800円。

### ★次回レイバーネットTVは11月16日

レイバーネットTVは、5月ゼロ号から始まり、11月までを一区切りとしています。ここでしっかり総括して来年の新たなプランニングを考えています。なのでことし最後の放送が11月16日（火）午後8時です。ぜひ視聴いただき、ご意見など寄せてください。→<http://www.labornet.jp.org/tv>

## お知らせ

レイバーネット日本の事務局は、ビデオプレスに置いています。11/1よりビデオプレスは同じ建物の4Fから1Fに移動しました。したがってレイバーネット事務局の郵送連絡先も変更になりました。新しい郵送住所は、173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-108です。電話・FAXは同じです。

## レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 460名

ウェブアクセス 1日 1700

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本

郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-108

レイバーネット日本事務局

入会申込用アドレス [apply@labornet.jp.org](mailto:apply@labornet.jp.org)

電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000円